

息づき始めた篠本町有地

地盤改良工事終了

スポーツ公園・工業団地は地盤改良工事を終了し、造成計画の約六十二割まで進みました。これからは、土工事及び調整池工事を中心に進め、十一月末にはその全景を町民の皆さんの前に現します。

スポーツ公園

スポーツ公園施設建設については、町議会・各種団体・子ども議会等多くの方がたの意見を参考に、現在具体的に検討しています。完成後は、町民の皆さんが気軽に親しみをもって利用できる公園にしていきます。



▲ 機械の音が鳴りひびくスポーツ公園

工業団地

工業団地については、県の協力を得ながら企業誘致活動を展開している状況であり、地域に根ざした雇用力のある



▲ 工事の進む調整池

優良企業を誘致し、地域の活性化を図っていきます。

21世紀を目ざし「活力と調和のタウン計画」

答申

第2次基本計画

昭和六十二年に齊藤町長から諮問のあった「活力と調和のタウン計画」（第二次基本計画）の答申が、総合計画審議会森正夫会長からなされました。

この計画は、平成二年度から七年度までの六ヶ年間の町

の進むべき姿を示したもので、答申の内容は、基本構想を基調とし、総合的な意見が添えられているため、町では答申内容を十分尊重し、第二次基本計画を策定するとともに、「第九次三ヶ年実施計画」にも反映させていくことになり

答申内容

総合計画審議会は、「活力と調和のタウン計画」の答申について、昭和六十二年九月から行っていたものです。また、この審議会は、複雑多様化する行政需要等に対応しながら、町の活性化と住民福祉の増進を図るため、行政の簡素化及び効率化等あらゆる面から検討、審議し、町の今後の方向について提言をする大事な機関です。

- ① 財源を効率的に活用した事務事業の実施。
- ② 町と町民が一体となった町づくりの推進。
- ③ 国際化への対応として、人材の育成。
- ④ 高齢化社会に向け、きめ細かな福祉施策。